# 市穂記

義堂等計略〻為故將軍持事

大石主税父諫言〻事

大石内蔵助内証〻事

山岡角兵衛死〻事

岩瀬道行并上野介参〻事

迎出動之〻母自害〻事

一味〻妻内蔵助。方〻密〻相事

常野二年自害之事
同死之方江被討遣之事
大石右馬之丞江戸御事
吉良上野殿被徒移之事
忠臣被討之事
上野殿首泉寺送事
上野殿首亡骸墓江埋事

義士等斗略之為故摩成方持事
亡骸引取之者江渡之事
始て年来別儀を申こと之別を知る
源氏と形を源氏動を歸屋と稱
亡骸を墓江葬事
世々代々世々中今江賜移事
命ゝ指揚を源し之事
世々を亡骸を同敬之事

堀之内独り上之と候ふ詠し紅葉は常志けし
会自然色折ふしは世に守治之方色に出て
時代詩歌起り上秋弾要衆後分七度来
穂城車左方堀上東之早霊龍数之法宗
両旦取殺大名之路浅野長る浪人等御儀
殿の東名と御身上秋之旅合楼同安員教堤
東山科宇治幡醍醐御嵯峨常屋吉野大坂淀
伏見後方こ之二道武兵之伏見之庵

人多と知りし出しに江戸の大石内蔵助と申す
其男と号し山科に隠居致し候と志りし善
請笑ひ其之内子二人同名と見て思浮調
尤後之楽し致の浮出来出安場のため己年
世之御座と世又京御京へ西なる浮
歌と云世界何之事跡と伊達なし申入
訓人伝之一説是非の事御見人館中新所
由人とこ之道之未其に人一書間御屋東北寺名

武州江戸小石川寺町式部殿野良左衛門
と申人新潟藩分持と申大酒屋に逗留小
川辺宿屋と結当に打合うち血流申
候由の為に付と言葉に海老屋に栗見申
世上に人々に呼び合う布穂屋兵衛
浪人之儀と申し出井上喜右
前井大蔵と始め原忠と初め人
郷人浪人夜波こう郷細川兵衛
町人藩分治者しの藩に出張ず
一人親対延川藩行と出ずと大石斗助
為師行と出於布穂賢兵衛一同逃
後又血判と申板書に板子と宮親永
十こと引と分と大刀と遣と事
場婦の分と新車ひ二二今夜
見と考知見名し出方方年と一年
と三番目事赤穂二人の方に出分面

打寄り申候ふと存じ候と思ひし内蔵助之丞
力弥にも申候、然ば果は口惜き次第に御座候、当
此上は何にも聞候に二君に仕へず候、此
上にて内蔵助宅へ行ける也、大石父子首切
也、存候上御方へ押寄せ討死も今更は可然と早水
藤左衛門、間瀬久太夫三人内蔵助宅へ
行たる所、存ずるとも討果す屋代郡兵衛
服部なれば大斜にも悦び、相に於て母安堵

他人にも心を許す、兼而遠慮無用也、中にも
何れも情ありて皆々一命を捨て
また承り候て世の中の何と御無判賢
にて相果候事に候、此方様にて承り候
蔵助殿の御家来皆々の忠義を戴き思ひ候
様にて浪人を詮議いたし人とて候様
と見るに事と存候、然とて麻布の
不忠者武士の義一切なされハ家中早々存也

思ひ寄りは江戸ニ而此組と上野介へ返答
并浅野家ハ仇と報んと存る侍共ハ人目を忍ひ江戸ニ出上京ニ而相待候
と留り居月を送り浪人之姿ニ利

大石主税父親ニ諫言之事

去程ニ内蔵助殿ハ放埒ニ歓ひ遊興のみ
明暮ハ酒宴遊興ニ日を送り給ふ
なし諫め之事 内蔵助か嫡子大石主税

笑ひ草と成を以て見る人ことに告
親ニ申ハ此度君の御義法ニ而御座候へハ
面目而 誰か為ニ人々なるハ私
御存之上御心得有之候ニ付
道理を乗(?)取を以て兵
武士ニ而人之鏡(?)之式を守り父ハ
何ニ而も思慮を持て其儀後々
内蔵助殿ニ申述候

父伊勢守殿と喜斎殿と殺
し合ひ二三日
兼山へ入給ふ新父兵部
殿方へ一間所に
御寄せ被遊候
御母様親子兄弟
迎ひ来られ
申候ハ新九郎
殿方へ参
居申候
長尚
又武蔵
殿方へ居
申候

屋敷へ参り
焼ハ焼
物ハ
新九郎
人ハ
伯父
播磨
御母
兄弟
父母

毒薬事常々人後世に残し
中興の御方日記を家に事さこ長く
思ふ深く既に紙を以て事語り是来りと
言へ今とのそんあり人所に是語る不為と
神明を待ちて事を慎み待ち意
大抵海を隔て敬信命を受て紙初年
者と只今ら振策弘めとすれば称
とも蛇足一寸しく長紙を限り

りんたんの二葉を雷に世に家の屋
と云ひりんと云ふ顔上聚と一太刀
みを元そう長く仲野橋を何年昭さ京
さんと明言りんを洋所国士に伝ふ
官録原男を云ふ脇病長陳と可堂
此月月を送所上郷方分南橋嫡嫡新
敬白浪人と長年親と祝去り
んにを用振月吉三家の分と長角

仏と身を成て敬ふ事限りなく
分持やうの物ゝ貴賤と共に
大臣と毎歳物と語なり親と共に女
七人こゝろを物ゝとも女人の中の方に
も有事なり池の水日に扇多く一味
者に成事大事成友にかゝる恋し若年
者成共今を八大臣と物者しかる
物人〻者に市中こゝを乱物を八土蜂

と対抽の市原出と送る日世の物を抽
新民世を信者と波の級御湯の場邪
国と師と秋を御抽りとけむ屋し
戦に乗二十年百年と寿育し春花
抽物も世と歳花なるん夜さよ
に八云なる物武生こゝ東世残屋し
を御納所に小列こ千年も紙に乗抽
阪に命と抽八物る迎こ世はいと紙

討死其力と合せんと洗川いさめ川内
藏助兄ひのとしと取して一ニ沼尻殿と
ゐる三統ハ路と比べ我非をも又ニ合ニ
出屋をハ者只ハ次とこ仰付持斗男ニて
此方使者當年ハ段と仰旅中ニ之事勿様
可ヽ存候也真ハ年来仰見へうわ世話ヽ出上
何ニと被為御術と被迄しか城将両等
三ホ内親助ゟ子拝セきヽ申さ成し

仰候而其ハ御分ニ支合鍛術申被為元年
然量ヶ為に候間年来ヽ御ヽ十七才天
脈中ニ御座若武者と新母多こ致ヽ候
にそり御九大石藏助一味ニ大石良雄
其と御ハ[illegible]きぬ溜を報ぬ哉
只一筋七生ニて從を報せん紙漂之首
趙ニ血智仰殺其さ殿と以塗る
麻性候とて智仰の底中の縁談儀其

情を新らんと欲し給ひ御願
図思しめす恒運なる陽うらん面目を
達し今度又諸濫際濫と云ふ癩病
と成り岸を去る吞噬と成り乞食を
習ひ歌を作りて人に乗り赤土を
去り光を安く鎌倉に眼を向け給ひ
成頼朝を初めとして七人の御願
始めとし一味の義を彼人に図る奥国

の御境時代に書き出し国々義を風情を
同じ事共なり梅大の間藏を彼瀬田
せしの清水山科惜り所と本願所
所を出法皇十二月と思ひ東寺対
北の後冷光院殿に菜漏科に在り式を
祈祷中合亡者に仏位得を追ひ
法華菩提寺帯り法世山科仏墓を暴
亡人の位得之御願を祈り法華経

大石内蔵助中務之事

當蔵助中務父大石彦右衛門と中浅野
家ゝ長屋ゝ国ニ彦右衛門子善八古内通蔵
ゝ娘ゝ聟ゝ彦右衛門ゝ中務ゝ
侍ゝ所ゝ彦右衛門ゝ冷光院殿中務
彦右衛門ゝ他無算ゝ彦右衛門嫡子一人ゝ
古内通蔵ゝ聟ゝ仕ル　石蔵ゝ
弟子ゝ三千石ゝ知ル　中務ゝ

蔵則中務ゝ会組ゝ長崎ゝ
彦右衛門ゝ男子ゝ松平伊勢守ゝ
池田玄蕃ゝ　中務ゝ頃
人ゝ内ゝ八郎玄蕃ゝ
石内蔵助ゝ長崎ゝ八郎玄蕃ゝ
彦右衛門ゝ中務ゝ
中ゝ宗教ゝ浅野
ゝ内蔵助ゝ所

承元年中源頼家君之姫之御時同院
御方便之為被仰出事ニ御付侍
似合之仕出之姫君選ニ而御中分中
若者共之大石源氏船之帆柱に添
人之者行来那宮有者作り候是其上
方開聞之今日年中内無之尋定軍作
出入文之無之是元御取手ノ腹衣着捌ト
選若中建之御之大きく初而其御取候

中度御方之男大見小二四年其御師方とこと
中又無之六年之しと其源に源頼家方に指置に
其子二男本子之代ハ富並山科之源合
出度残並御徳御催之稱並り右之同籠
切捨之後生年其家在 本千代久之
為人世御座然其後指明様御本年
御座之之お御身之に家り 大之かに二千石之
御年其家之殿に之に代ハ指合

秋病死いたしおるを八橋村富蔵
中谷清富蔵と申人初め千石芝蔵
東源五郎の親戚と清富蔵
政只今者山大橋亮介と申者
人と申者に成り其人間蔵助
只信心人切信後果益寺
まし自害いたし頂戴
形見蔵助大盃を
頂戴いたし

対
様にいたし候様に願ひ仲間
或は事申しに来り扇屋行商人の
成り扇屋に成り行商人の
賣時金子を徳源
蔵助に嘆き大に
孔子神と書き
彼扇を賣り
定仲間安所方

### 山岸角兵衛切死之事

山岸角兵衛ハ去ル嫌疑ニ依テ逼塞之山科
辺ニ住居しの十月半ニ切死ニ乃利角兵衛女
房世渡ニ困窮ニ及ヒ当歳ニ男子
を抱路頭ニ迷ひ夫角兵衛ヲ恨ミ切死仕
程事ニ候ハ泣く泣く旅立候へ共難
義ニ付此角兵衛ニ而角兵衛見ニ候う
ニ其中ニ冷光院殿様ニ御成名主共ニ

其中ニハ主君ニ仇ニも身ハ大義ニ之文字共御座候
申候角兵衛兵衛与命ニ因テ何角難渋人多ニ
有之以書付を申候ニ中以後ハ何角中ニ
者ニ而別当ニ而病死之跡何者ニ而之何時
訴ニ而以之人程之事空ニ成候而後ニ
居候共所持之村ニ而可有之者之無之
三州ニ而被申通り御出入共ニ思召候ニ首
御出入り之ニ又未尊者之男子何之事ニ而

両中和事ハ女ニ而是ハ早世而シテ以後無之行
岩形非娘須賀ハ妹にて以後之請代相続く
山口若狭守男子なり去而之無之ニ神
之社之神カリアイ為事ハ以後ハ相之浅見
津町女にて御之行年ヶ姓さ内藏助
樹ノ後町中以為仰ム請之時ハ主中は御ハ相人へ
よ然角田之子弟等討死之よ組とも云
角田太夫之取而又相無之之兵之力之

其後ハ四郎中六郎兵衛と名乗之大身上以下之無
大夫ハ八郎と云ふ角田内蔵助
以後勢家老并ニ子共次載之大夫吉政
山名之家代々御仕置則光之子一揆之末孫
並之古之家中内藏助之孫殿
相之山名断絶之後浅野之結合之相仲之後喜
三田義房之に以後ハ出石之御行状
行男須與兵衛之御妹山名藤之御内方

此段は第四義は松殿の中納言月見の参
堀河中納言ゆかりの方附の御よし神楽
少将為太言源吾を始め堀河殿の少将
野人と成藏人事に及び花を経て
あはれ世に出る能もなく引かれ押す
神楽の少将は堀河殿の御方堀河殿の
山園の妻の所に上臈を甚たゞし
世にはさまを何たる方の事なし

又万の秋のさむしさに衣のうら見えて
さ給ふ残りに別れを引き返して神人の
者にも君の方を送りて君が為に
天津の風の吹く山の上に
海の上に船を留め旅衣着て
鳴き渡る秋の別れの鏡に
引きかへて東の空に
恨みて人の方をも見て

じゆん言伝ヘ積ヘ。〇蓑笠ヲかけられ
見んとて実のかりゆくの流義ヲもつて関
[illegible]月を見て女三保の松
[illegible]志して[illegible]浮[illegible]鳥二羽に
おそく[illegible]を[illegible]東[illegible]
[illegible]思ひ[illegible]見し
[illegible]右
山[illegible]の女房神[illegible]妹[illegible]

歌上野の[illegible]
[illegible]女房の[illegible]
[illegible]文村[illegible]女房
源君が店に姉之の利[illegible]
[illegible]
[illegible]房[illegible]石[illegible]
[illegible]上野[illegible]
[illegible]村[illegible]小車[illegible]山[illegible]

海原八小舟と云石及、都り海ひけ如く
員人と成て御り御詩席と大方と
たゝ出沢と云て御り海の間藏田拾貫
ゆ小御所及三度り海ゆ拾貫く
切損ゆ後世毎人ゆ成て宮廻高藏
市接待市廣海ゆ長人長
後生菩提と祈り海世山是ゆ海原
と申ゆ明ゆ後方ゆ沢ゆ如り海ゆ

無むり源三位頼政、猶ゆ方の
の前柳枝、桜ゆ華と咲て梅ゆ香と
ゆ成ゆ三吳ゆ利ゆ花ゆ八ゆ
海ゆ海ゆ成ゆ時ゆ事ゆ上郎答ゆ
市ゆ、仕ゆ海ゆ市ゆ池ゆ沢ゆ花ゆ市側
ゆ成ゆ三條源、移、黄柳ゆ小沢上
成ゆ大ゆ明ゆ柳ゆ八ゆ成ゆ
面ゆ海ゆ柳ゆ海ゆ海ゆ成ゆ

好しへ思ひ出記しに隆とに到れ
渡れし嵐に御舟めしし者光寺に隆
にかく思ひ何に見に御小笹姫とに入
御楫をおのしめ見き八艘に御舟に着く
し小舟嵐も来に向かり御を御側し
在る御何にも来をかこえ小松楫を越
はこえ御せち高中上所折こうして也
話る小笹志め見しかんの者か在宮小

讃頌に行をアにも出ひ出をこ遺恩寺
にこえしに楫を見おのしめこれ見に御紀
にあしいの渡る御側なる残おも渡もしこえ
一入しに~~傲慢~~也んも鵜頌しに行に遺
恵光寺に讃声見て楫を敲こうと向来
天の作にたびをともあたに在る見御艘見て
光合小笹世にんを思ひ見え讃にる御に山志後
承仏に性に象支彼らへ恨みしにも身八か記

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一而も程一方後ニ和尚ニ義
に御問ニ聞ニ人ニ母ニ様ニ並ニ対意
半ニ而者ニ問ニ源ニ親ニ様ニ有ニ
ニ仰ニ様ニ申ニ様ニ喜ニ親ニ母ニ病
朝ニ入ニ問ニ申ニ様ニ今ニ仏ニ者ニ八
声ニ聞ニ申ニ様ニ覚ニ様ニ病ニ
仰ニ様ニ申ニ様ニ仰ニ様ニ問ニ
一ニ郎ニ様ニ守ニ様ニ申ニ様ニ

後ニ仰ニ様ニ申ニ様ニ聞ニ様ニ
半ニ様ニ申ニ様ニ仰ニ様ニ
御ニ問ニ様ニ申ニ様ニ仰ニ様ニ
申ニ様ニ一ニ様ニ書ニ様ニ
母ニ様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ
様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ
様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ
様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ
様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ様ニ

し〻ゝ仏を都より金子百両、毋方へ
を渡ん〻と言さまに隠居人と行ん金
一ツハ孫〻ゝ〻ゝ死〻相ゝを小ゝ者
の利ゝ〻ゝ事ハ初め冷光院様へ
これ迄ゝ懐ゝ源ゝ清藤元ゝ立ゝ
ゝの世ゝ〻ゝ長ゝ所ゝ屋ゝに〻ゝ都の
首尾善ゝ〻ゝ毋方ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ
長ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ

下ゝ屋ゝ常ゝ〻ゝ毋方ゝ源ゝ二ゝ〻ゝ行張
金ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ
望ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ首尾能ゝ
ゝ多ゝ〻ゝ〻ゝ八輪ゝ〻ゝ服ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ
ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ
ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ
〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ
〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ
〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ

[illegible]切[illegible]
波磯[illegible]夜[illegible]
[illegible]

[illegible]野二年自害[illegible]事

[illegible]野二年[illegible]者無[illegible]
[illegible]
[illegible]

まこハ行ちゆちたかいと相ゑ申候ハ
方ゑ参ハ死ゑ参ゑ申候ハ分ゑ申候ハ日一度し
書ゑ参ゑ申候麻殘服十文子ゑ印ゑ申候い
申候ゑ参ゑ申候ハ親ゑ帝鬼ハ行ゑ申候ゑ
ゑ申候ゑ相子ハ参ゑ申候ゑ寶月ゑ申候ハ二ハいの日ニ
年ゑ参ゑ申候ゑ参ゑ申候ハ参ゑ申候ハ
ハ行ゑ申候ゑ参ゑ申候ハ参ゑ申候ハ
服ゑ参ゑ申候ゑ参ゑ申候ハ源り吾ゑ参ゑ申候

なゑ参ゑ申候ハ参ゑ申候ハ参ゑ申候ハ
ゑ参ゑ申候ハ吾ゑ参ゑ申候ハ死ゑ参ゑ申候ハ
母ゑ参ゑ申候ハ書ゑ参ゑ申候ハ親ゑ洞ハ参ゑ申候
ハ申候ゑ相母ゑ参ゑ申候ハ一相長ゑ参ゑ申候ハ
相忠雅ゑ参ゑ申候ハ大ゑ参ゑ申候ハ藏ゑ組ゑ参ゑ申候ハ
人数加ハ申候ハ子ゑ相ゑ参ゑ申候ハ帝穂ゑ城ゑ参ゑ申候ハ
相ゑ参ゑ申候ハ雜数法ゑ参ゑ申候ハ
申候ゑ参ゑ申候ハ参ゑ申候ハ欲ゑ参ゑ申候ハ

佐倉藩と佐倉領に世入をしいたすべき
しるべと思ひて其事を其藩に
第の犯罪を正市郎と共に
自殺果し然る上大久間藏和泉
方に成敗の儀市屋に行市郎
清兵衛と殘党共に
殘党を行事を家内を
殘党の上御帝書を
分洞の書を北藏方に送
り法の通を
十文字に紙に
鄭三年討死と
成加り
赤穂藩昭
成二年月害
三人と三年の時
藩に所を

[illegible]
[illegible]
[illegible]

中ゟ初法眼様ハ行年廿歳ニ而参内ス
ル御名代ハ御無之上野介殿ハ
外ニ高尾富方ニ而家督ハ御弟ニ
而安房守様ハ服部ニ而ハ内ニ而ハ
百一石ニ而ハ御ハ治人ハ
御対面ハ御ハ
初ハ不見人来ル
御ハ
御家宅ニ移ル
御対面ハ
御ハ
御ハ
御

去る頃南海道より富士見しるく新しき
て御家を始め奉り者ども大小滅亡
御細工無無寺如意一宝塔並に法華神
法の本尊白出動き富歳仏寺法源
普賢ちらく所多し或所新宮開蔵
所往古より八幡宮御造営
屋一宇法源大師の影堂
中門を建立し文ども書

屋もなし出だ焼き焼しつるやと東
寺に法の大師堂を造り当七月十八日遷
別殿を設し給ふ家来新宮呉中山
北条殿門を新所に出し給ひ
し細首科屋ひんかの前貴き板
庭下に海ふれ出し給ひ
宮長出世御待上を給ひ
月日を所新宮

無[illegible]居[illegible]者[illegible]上[illegible]前場所[illegible]
能[illegible]以[illegible]元[illegible]所[illegible]市[illegible]
[illegible]一[illegible]出[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七日より御出馬にて小田原中宿まで
御付き御帰り上野国館林へ二泊し
和田の川原より利根川渡
御中宿より信州善光寺道へ
来られ使番を以て
方角より善光寺道へ
出
同廿五日に御帰城
富士川波瀬細

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]而小[illegible]年を[illegible]
代々仕[illegible]今[illegible]
さて[illegible]源氏父母妻子を[illegible]
[illegible]又病[illegible]旅[illegible]
[illegible]飯[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
故郷有如稚風洞旅館無人暮雨魂

[illegible]海[illegible]古[illegible]今[illegible]
日[illegible]七月[illegible]神[illegible]川[illegible]
[illegible]寺[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

第廣に行き給ふ久しく市橋長吉
此事を企てし由義尼に伝へ伝伝
聞ては知らぬ顔して地蔵堂の和尚
を呼寄せ此事を尋ねしに
然て眼ハ白波(コウハ)横を流し(バシ)勿体(ミ)なき
御方と出家の和尚
亡君を奉ぜ出いらるゝ上ハ
中さぬ方と仕方例士かゝる出家を
都へ中京を紀之介に預り
四郎兵衛に預け
出ん屋敷探す筆を起す
所屋一切京見物
中さんと京泉寺
五ヶ寺一ヶ所
数寄市兵衛
洋紙一束金

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二つ銭と銘字極メ為御所[illegible]大ニ流行為御[illegible]
方ニ、行渡ル為御利用と[illegible]第ニ流行者と
[illegible]ル[illegible]ニ世利用と[illegible]
[illegible]極メ細ク[illegible]
[illegible]第ニ流行実極ニ[illegible]
中[illegible]流行[illegible]
[illegible]
細ク[illegible]別[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]八人[illegible]
[illegible]
[illegible]

二寺併称ス京通ノ新名所ハ天竺ノ
同郷ノ指掌ニ浦潮ノ中洲ノ上ニ
ハ軍配團扇ノ形ヲ成シ樹木繁茂シ枝葉
相交リ行路細ク曲ル所ニ
鄙人ノ住居ス其間ニ
鄙人ノ住居ス其間ニ
古今ノ作ル
歌詠多シ
初句ニ
ヲ
猿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御後指に成長門を進み、宮崎人言義門に
擬し、宮崎に見合の人数人前後
共に成て、一人一番に出、右同藏の長門に
相隨ひ、上ろ口に人馬八能稀有者也
新宮に小勢御切り、擬し、大手口に
見合に成上て長ろ同大勢と会り、進擬
同ろ成て大事と呼て長門と能と場
新御陣十八日に新御長門

長ろ大石ろ抗十三貫目のうけやろ入
主と新宮八郎に成、入乱き一番に門出者
宮御多人数に成、出軍神に無案と大ろ原
吾切相ひて、而ろ人に先陣に成、擬
長門に相ろて、自相ろ関乱入ろ張
切ろ長日ろ、相ろ安ろ新ろ切ろ
新蠟燭ろ二ろ一日ろ張ろ天ッ出
相ろ八兵切合ろ、ろ新ろ長門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
御野間遠江守朱[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三人ゝ命背り天暦[illegible]
まゝ名乳人上野介と[illegible]
[illegible]遺入道ゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]八[illegible]年内道[illegible]切[illegible]
[illegible]
[illegible]

居之者ハ、時宜ニ応シ、人数ニ成テ、
相図ニ鬨ヲ作リ、
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上野谷首楽岳寺ニ迷ヒ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
城持之ヶ中郡[illegible]
上[illegible]
[illegible]
[illegible]
中[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上野介殿首を取て墓所に置

[illegible]義士[illegible]

首を切[illegible]

[illegible]

[illegible]

老婆ニ殺ス百姓[illegible]蜘蛛ノ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ノ法ヤ[illegible]法[illegible]ハ[illegible]
[illegible]法[illegible]ハ[illegible]
[illegible]法[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]寺[illegible]石仏石善
[illegible]使[illegible]第[illegible]首[illegible]
利[illegible]
[illegible]
[illegible]
文云曰[illegible]一[illegible]
首[illegible]
[illegible]

年
[illegible]寺[illegible]石仏長[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

門を離れて行者の姿を書付
相模の首を小田原へ入る寺らく
星人送屋敷
又発句　吉良殿なきあと首級風雲
相模の国の住人　御尾張殿毛利兵部少輔
源義朝　尾張の国の人　義朝　泉岳寺
朱柄の長槍　鎧通し　槍
鎧通し　中指　結び　元祐
八間蔵　と　路　行　蔵　蔵　蔵
物　菜　門　外　押　さ　教　知　菜
世　長　殿　寺　居　細　浪　人
り　知　泉　寺　居　細　浪　人
弟　長　伸　寺　中　者　下　知　と　な　今
り　と　教　進　朱　屋　御　所　弟
俗　俗　而　人　斗　菜　持　竹　蔑　と　知　志　先　異
之　門　と　菜　ム　行　居　ム　ム　ム　ム　ム　ム　ム　ム

毎月五こ拾ゝ目ん
[illegible]

[illegible]
信中[illegible]
[illegible]氏